

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を
依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター【ご利用時間 9:00～18:00】※全日対応(土・日・祝日対応)

●フリーダイヤル

☎ 0120-20-8822 ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから
最新の電話番号をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



●北海道支店	TEL (011) 786-5122	●北陸支店	TEL (076) 263-4311
●東北支店	TEL (022) 288-8676	●関西支店	TEL (06) 7167-3644
●東京支店	TEL (03) 5753-7703	●中国支店	TEL (082) 504-8282
●関東支店	TEL (03) 6374-5687	●四国支店	TEL (087) 863-6761
●中部支店	TEL (052) 533-0231	●九州支店	TEL (092) 621-5772

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99184106 307 G

HiKOKI

取扱説明書

用途

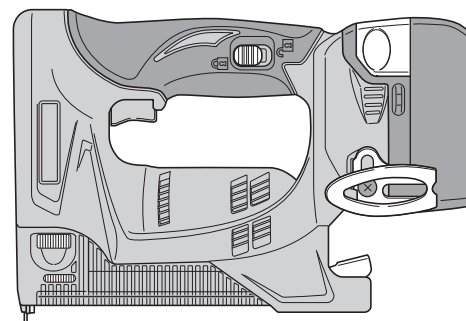
- 透湿防水シート止め作業
- 断熱材止め作業

コードレスタッカ

14.4 V N 14DSL

18 V N 18DSL

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



はじめに

コードレス工具の安全上のご注意…	1
本製品の使用上のご注意……………	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	9
各部の名称……………	11
仕様……………	13
別売部品……………	14

使い方

ステーブルの取扱い方……………	14
ご使用前の点検・準備……………	15
ステーブルの装てん方法……………	17
ステーブルの打ち方 (単発 / 連続) ……	17
空打ち防止機構について……………	19
打ち込み深さの調整方法……………	19
フックの使い方……………	20
ステーブルを打つ……………	21

その他

保守・点検……………	23
ご修理のときは……………	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ③ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑤ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⚠警告

- ⑥ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑦ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。
- ⑩ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で
使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や
夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

- ④ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
- 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ スパナや調整キーなどは、取りはずしてください。
- スイッチを入れる前に、スパナや調整に用いたキーなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。
- 特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

⚠注意

- ⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。
- アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。
- サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用了コードレス工具の保守・点検・修理は受け付けできません。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレススタッカについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① **保護メガネを使用してください。**
 - 作業中は保護メガネを使用してください。
 - 周りの人にも保護メガネをかけさせてください。
ステーブルを連結している接着剤や打ち損じのステーブルが目当たるなど、けがの原因になります。
- ② **騒音から耳を保護するため、防音保護具を着用してください。**
- ③ **作業環境に応じてヘルメット、安全靴、防じんマスクなどの防具を着用してください。**
- ④ **蓄電池を取付ける前に、次の点検をしてください。**
 - ねじがゆるんでいないこと。
 - 損傷したり、はずれている部品がないこと。
 - さび付きなどで、正常に作動しない部品がないこと。
 - プッシュレバーがスムーズに動くこと。
 - ロックレバーによりスイッチがロックできること。
異常のあるまま使用すると、けがや機体の破損の原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑤ **蓄電池を取付けるときは、次のことに注意してください。**
 - プッシュレバーの先に触れたり、対象物に当てた状態にしない。
 - 射出口を人体に向けない。
 - スイッチをロックする。
誤ってステーブルを発射した場合、けがの原因になります。
- ⑥ **使用前に安全装置の点検をしてください。**

この機体は、プッシュレバーとスイッチの両方を作動させないと、ステーブルが発射されない構造になっています。
ステーブルを装てんする前に、蓄電池を取付け、スイッチのロックを解除し、さらにマガジンを開いて次の点検をしてください。

 - スイッチを引いただけで、モーターが作動しないこと。
 - プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当てただけで、モーターが作動しないこと。
異常のあるまま使用すると、けがの原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

⚠警告

- ⑦ **作業する箇所に、内部配線やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
- ⑧ **使用中は、機体を確実に保持してください。**
- ⑨ **ステーブルを打ち込む材料の裏側に、手や体を置かないでください。**
ステーブルが突き抜けたり、材料が欠けたときなどに、けがの原因になります。
- ⑩ **可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。**
可燃性の液体やガス（シンナー、ガソリン、塗料、ガス類など）のある所で使用しないでください。
ステーブルを打ち込むときの火花による爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑪ **次の場合は、スイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない場合や作業中断時。
 - 準備・保守・点検・調整、ステーブル詰まりの直しなどの場合。
 - ステーブルを装てんする場合。
 - 機体を移動する際や手渡しする場合。
誤ってステーブルを発射する恐れがあり、けがの原因になります。
- ⑫ **作業中は周りの人に注意してください。**
 - ステーブルを連結している接着剤、打ち損じたステーブルが当たる恐れがあります。
 - 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
機体や材料を落としたときなど、事故の原因になります。
- ⑬ **薄い板や木材の端にステーブルを打たないでください。**
薄い板に打つとステーブルが突き抜けたり、木材の端に打つとステーブルがそれたりして、けがの原因になります。
- ⑭ **機体の反発に注意してください。**
かたい所に打った場合、機体が跳ね返ることがあるため、顔を近づけないでください。
- ⑮ **壁の両側から同時にステーブル打ち作業をしないでください。**
打ったステーブルが突き抜けたり、壁ぎわのステーブルがそれたりして、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑯ 以下の場所では、次のことに注意してください。
- 屋根などの斜面でステーブルを打つときは、下から上に向かって前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足を踏みはずす恐れがあり、けがの原因になります。
 - 床などの水平面でステーブルを打つときは、前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足をとられ、けがの原因になります。
 - 壁などの垂直面にステーブルを打つときは、上から下へ作業してください。
- ⑰ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、蓄電池を取りはずして機体やステーブルなどに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
特にブッシュレバーがスムーズに動くことを確認してください。
- ⑱ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらしたりしないでください。
誤作動等をおこす原因になります。
- ⑲ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑳ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

- ① LED ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
- ② 蓄電池のスイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ③ 蓄電池は確実に取付けてください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記 ①、②、③ の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - ・作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - ・使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- ② 誤って落とすなど、蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ③ 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ④ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

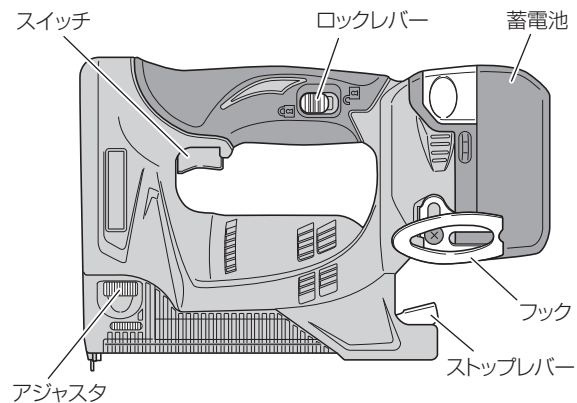


○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

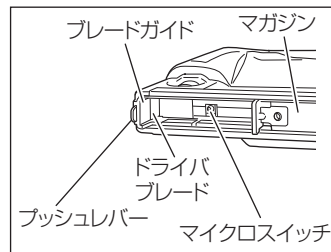
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

各部の名称

工具本体

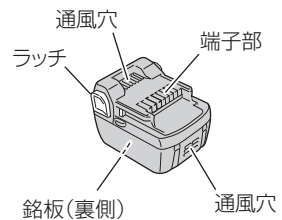


〔裏からみた図〕

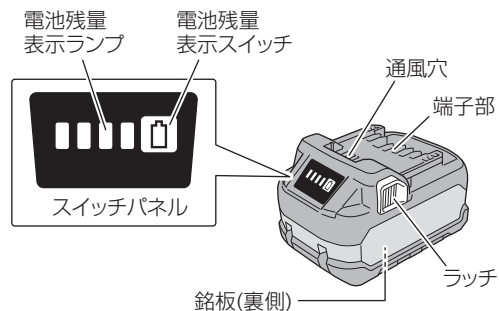


蓄電池

14.4 V (BSL 1460)
18 V (BSL 1860)



36 V (BSL 36A18X)



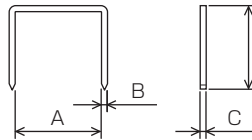
標準付属品

品名	工具本体仕様	N 14DSL	
		NK	
蓄電池		—	
充電器		—	
保護メガネ		1 個	
収納ケース		1 個	
電池カバー		—	

品名	工具本体仕様	N 18DSL	
		LXPKZ	NK
蓄電池 BSL 36A18X		1 個 (本体装着)	—
充電器 ● 取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。		1 台	—
保護メガネ		1 個	1 個
収納ケース		1 個	1 個
電池カバー		1 個	—

仕 様

1. 工具本体

形 名	N 14DSL	N 18DSL			
使用ステープル	(寸法単位：mm)				
		A	B	C	D
		11.75	0.5	0.7	6
					10
					13
釘 の 装 て ん 数	150 本 (1 連)				
モ ー タ ー	直 流 モ ー タ ー				
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池				
電 池 電 圧	14.4 V		18 V		
工 具 本 体 寸 法 全長×全高×センタハイト	235 mm × 155 mm × 82 mm [BSL 1460 装着時]		237 mm × 166 mm × 82 mm [BSL 36A18X 装着時]		
質 量	1.7 kg [BSL 1460 装着時]		1.9 kg [BSL 36A18X 装着時]		

2. 蓄電池

形 名	BSL 1460	BSL 1860	BSL 36A18X
種 類	円筒密閉形リチウムイオン電池		
電池電圧	14.4V	18V	36V/18V(自動切替 ^{※1})
容 量	6.0 Ah		2.5 Ah/5.0 Ah(自動切替 ^{※1})
冷 却	対応		
使用可能 コードレス製品	14.4V品	18V品	18V品：使用可 ^{※2} 36V品：マルチボルトタイプ 蓄電池対応製品 ^{※2}
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36***、UC 18***シリーズ		
残量表示ランプ	—		緑色LED

※1：工具本体により自動で切り替わります。

※2：ご利用できない製品があります。詳しくは、弊社ホームページまたは総合カタログで確認してください。

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

このタッカは、下の表に示すステープルが使用できます。
ステープルは150本が1連に接着されています。

注 ステープルは弊社純正ステープルをご使用ください。
純正以外のステープルを使用するとステープル詰まりすることがあり、故障の原因になります。

(寸法単位：mm)

形 状	ステープル	A	B	C	D
	BF 1206	12	0.5	0.7	6
	BF 1210				10
	BF 1213				13

ステープルの取扱い方

- ステープルは、ていねいに扱ってください。
落とすと、連結部が切れることがあり、そのままの状態で使用するとステープル送り不良により、空打ち、ステープル詰まりなどが発生することがあります。連結部が切れたステープルは使用しないでください。
- ステープルは長時間外気や直射日光にさらさないでください。
さびの発生や、連結部に不具合が生じる場合があります。ステープル梱包箱などに入れて保管してください。

ご使用前の点検・準備

●ステープルの準備と安全点検

⚠警告

- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 子供など作業者以外は近づけないでください。
- ねじ類がゆるんでいないことを、十分に点検してください。
- 損傷したり、はずれている部品や、さび付きなどで、正常に作動しない部品がないことを点検してください。

用途に合ったステープルを準備してください。(P.14「別売部品」参照)
P.23「保守・点検」を参照し、安全点検を必ず行ってください。

●スイッチのロック機構について

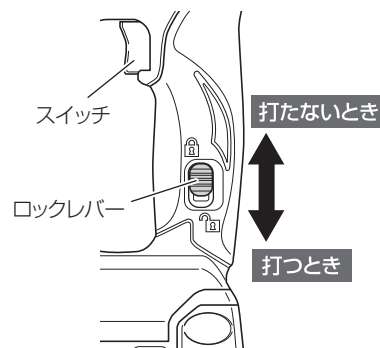
⚠警告

ステープルを打ち込むとき以外は、
スイッチをロックしてください。

この機体には、スイッチを引けなくする
ロック機構が付いています。

ロックレバーを「」の位置にすると
スイッチがロックされます。

打つときはロックレバーをスライドして
「」の位置にし、打たないときは「」
の位置にしてください。

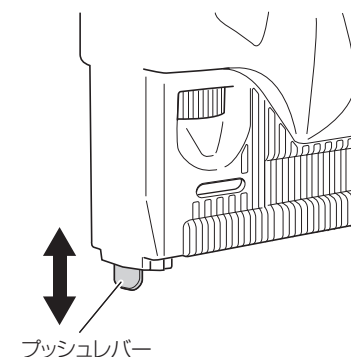


●プッシュレバーの確認

プッシュレバーがスムーズに摺動するこ
とを確認してください。
動きが悪いときは、プッシュレバーの摺動
部を清掃してください。

⚠警告

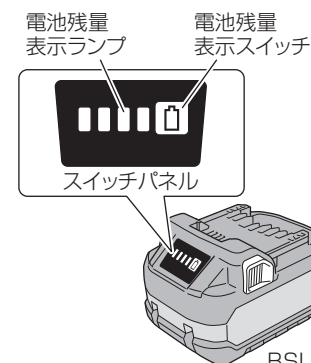
プッシュレバーの動きを確認するとき
は、スイッチをロックし、蓄電池を工具
本体から抜いてください。



●蓄電池の電池残量表示について [BSL 36A18X]

電池残量表示スイッチを押すとランプが
点灯して、電池残量を確認することがで
きます。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態
などにより異なりますので目安としてく
ださい。



BSL 36A18X

ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止 ^{※1}
		故障のため出力停止 ^{※2}

※1: 蓄電池を工具本体より取りはずし、
十分に冷ましてください。

※2: 蓄電池の故障と考えられますので、
お買い求めの販売店に相談してく
ださい。

注 残量表示機能のある製品を使用した
場合、製品側と蓄電池側の残量表示が
異なる場合があります。

ステープルの装てん方法

⚠ 警告

ステープルを装てん・抜き取りの際は、スイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いてください。

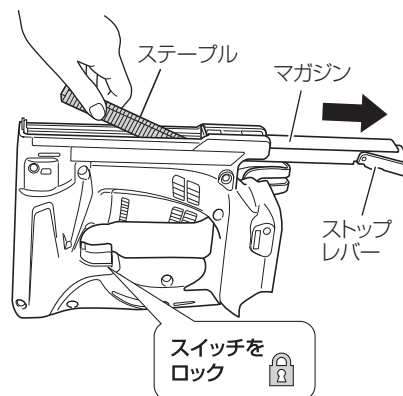
1 ストップレバーを押し、マガジンを後ろへ引き出します。

2 ステープルの足を上にしてマガジンの中に入れます。

3 マガジンをもと通り押し込むと、ストップレバーでロックされます。

注 • マガジンは静かに閉めてください。強く閉めると、ステープルの連結が変形して、マガジンが閉まらないことがあります。

• マガジンが閉まりにくいときは、マガジンの各溝部を点検してください。このときは P.23「マガジンの点検」を参照してください。



ステープルの打ち方（単発 / 連続）

ステープルの打ち方には、先にプッシュレバーを打ち込み対象物に押し当ててからスイッチを引く「単発打ち」と、先にスイッチを引いてからプッシュレバーを押し当てる「連続打ち」の2つの操作方法があります。

単発打ちは、仕上げを重視する作業や狙った所にステープルを打つ際に使用し、連続打ちは、スイッチを引いたまま連続的に作業したい場合に使用します。

この機体は、作業内容によって効果的な使い方ができるように単発 / 連続切替え機構を備えています。

安全装置について

この機体は、プッシュレバーとスイッチの両方が作動しないと、ステープルが発射されない構造になっています。従って、スイッチを引いただけのとき、または、プッシュレバー（射出口）を打ち込み対象物に押し当てただけでは、ステープルは発射されません。これは、ステープルを打つとき以外に誤ってスイッチを引いたり、プッシュレバー（射出口）を押し当てただけで、ステープルが発射されることを防ぐためです。

● 単発打ち

1 ステープルを打つ所に射出口を確実に押し当てます。

2 スwitchを引く、ステープルを打ち込みます。

3 機体を持ち上げて、スイッチをはなします。

注 • 狙った所にステープルを打つ場合は、単発打ちで作業してください。
• スwitchを引く動作を途中でやめると、次の打ち込み作業ができなくなることがあります。このときは、一度蓄電池を抜いて、さし込み直すことで打ち込み作業ができるようになります。



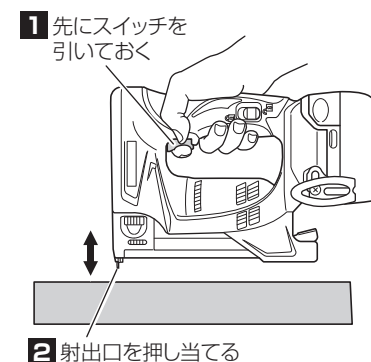
● 連続打ち

連続打ちは、はじめにスイッチを引いておき、その後、ステープルを打つ所にプッシュレバー（射出口）を「トン・トン・トン」と押し当てれば、連続的に作業ができます。

1 先に、スイッチを引きます。

2 プッシュレバー（射出口）を、対象物に押し当て、ステープルを打ちます。

3 スwitchを引いたまま機体を持ち上げて、2からの手順を繰り返し、連続してステープルを打ちます。



空打ち防止機構について

このタッカはステープルがなくなった後の空打ちを防ぐため、空打ち防止機構を備えています。

ステープルが約 8 本以下になると、機体が作動しなくなります。

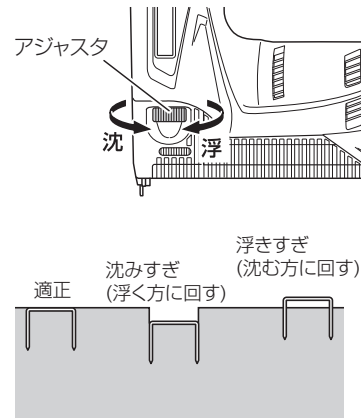
また、ステープルを 1 連打ち終わると約 8 本のステープルが残りますが、同じ形状のステープルを後ろから装てんすれば、続けてステープルを打つことができます。

打ち込み深さの調整方法

⚠ 警告

アジャスタを調整するときは、スイッチをロックしてください。また、射出口付近に顔や手・足などの人体がないことを確認してください。

試し打ちし、ステープルが沈みすぎるときはアジャスタを浮く方に回します。ステープルの頭が浮くときは、アジャスタを沈む方に回します。アジャスタは、回転させることで最大約 2 mm 移動します



フックの使い方

フックは、作業の合間に腰のベルトなどにつり下げる機能を持っています。フックの取付け向きを替えるときは、次の手順で付け替えてください。

⚠ 警告

- フックを使用するときは、スイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- フックを使用するときは、工具本体が落下しないように、しっかりと掛けてください。
工具本体が落下すると、事故の恐れがあります。

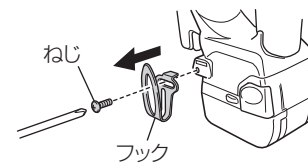


⚠ 注意

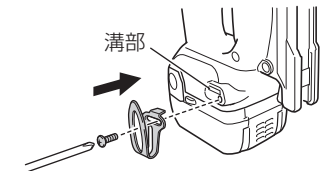
フックはしっかりと取付けてください。フックの取付けが不完全なまま使用すると、けがの原因になります。

1 フックをはずす

プラスドライバーを使用してねじをはずします。



2 付け替えてねじを締付ける



ステープルを打つ

- 透湿防水シート止め作業
- 断熱材止め作業

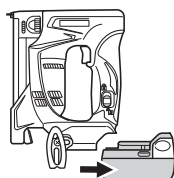
⚠警告

- 人体に射出口を向けないでください。
- 射出口付近に顔や手、足などの人体を近づけて作業しないでください。
- 一度打ったステープルの上に、再度ステープルを打つことはしないでください。
- 使用しない場合や作業中断時は、蓄電池をはずしてください。
- 作業終了後は、蓄電池をはずしてから、ステープルを全部抜き取ってください。

注 低温時に使用すると、機体の動きが悪くなる場合があります。

1 スイッチをロックし、蓄電池を取りはずす

誤操作防止のため、蓄電池を工具本体より抜いてください。



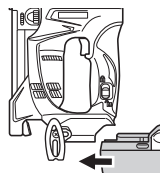
2 ステープルを装てんする

用途に合った寸法のステープルをマガジンに装てんしてください。
(P.17「ステープルの装てん方法」参照)



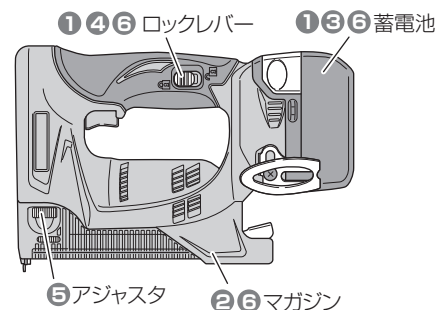
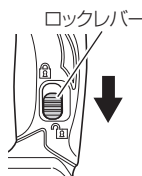
3 蓄電池を取付ける

右図の向きで「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



4 ロックレバーのロックを解除する

ロックレバーをスライドして、ロックを解除してください。
(P.15「スイッチのロック機構について」参照)



⚠警告

- スイッチを引くときは、他の指でプッシュレバーなどを固定しないでください。誤ってステープルを発射した場合、けがの原因になります。
- 使用しない場合や作業中断時、使用後はスイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いてください。

注 材料のかたさ・厚さ・組み合わせによってはステープルが曲がる場合や材料が割れる場合がありますので、試し打ちして確認のうえ、ご使用ください。

5 ステープルを打つ

必要に応じて、ステープルの打ち込み深さを調整します。
(P.19「打ち込み深さの調整方法」参照)



6 作業を終了する

作業後は、スイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いてから、ステープルをマガジンから全部抜き取ってください。

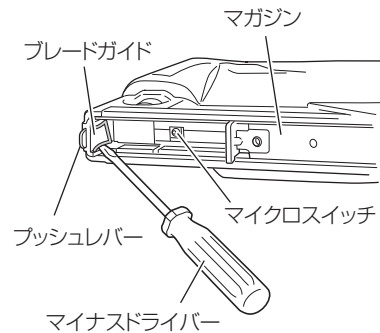
保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れの際は、スイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いてください。

●ステープル詰まりの直し方

- ① 蓄電池を工具本体から抜き取ってください。
- ② ストップレバーを押し、マガジンを引き出し、マガジンに入っているステープルを全部抜きます。
- ③ ブレードガイドの溝に詰まったステープル、接着剤、破片、木くずなどをマイナスドライバーなどで取り除きます。
- ④ プッシュレバーがスムーズに摺動することを確認してください。



注 ステープル詰まりを直した後は、ステープルを装てんし、試し打ちしてから使用してください。

●マガジンの点検

マガジン内部を時々掃除してください。
マガジンベースを引き出して、溝の中にたまったステープルの接着剤、ごみ、木くずなどを取り除いてください。

注 マガジン内が汚れると、ステープルを送るフィーダの動きが悪くなり、空打ちが発生しやすくなります。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

● リチウムイオン電池の輸送について

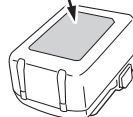
リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

電力量
□□ Wh
数字 2～3 ケタ

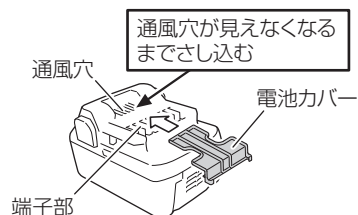


● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



注 リチウムイオン電池を保管するときは、半分程度の容量で保管してください。

蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3 か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。

充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池をお買い求めください。